

ホソバミズヒキモ

Potamogeton octandrus Poir.

ヒルムシロ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧Ⅱ類

国カテゴリー

該当なし

選定理由

石川県では従来も少ない種類であるが、近年激減している。(現況:R-)

形態

コバノヒルムシロに類似しているが、本種は花柱が短く、したがって果実の嘴が短い。また、果実の背稜に低い突起があるか、あるいは平坦であって、コバノヒルムシロのように「とさか」状の顕著な突起はない。浮葉の葉身は長さが1.5~3cm、幅4~10mm。沈水葉は線状で葉身の長さ3~5cm、幅0.3~1mm。

国内分布

本州、四国、九州、に分布。アジア、アフリカに分布。

県内分布

従来は能登と加賀中央区に分布したが、近年の調査で、これらに加えて、さらに南加賀区での分布が確認された。今回の調査では、外浦区、中能登区、南加賀区から報告がある。

生態など

6月ごろから秋にかけて、葉腋に殖芽が形成される。殖芽は栄養生殖ならびに越冬の手段である。

生育環境

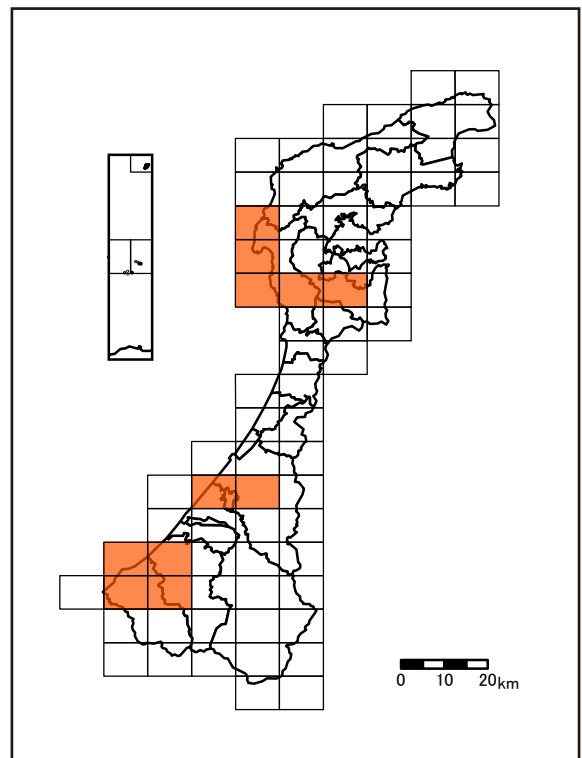
池沼。

危険要因

池沼開発、管理放棄、自然遷移。



白井伸和・2007年8月22日・富来町



県内の分布